



関西大学 文学部 ってこんな学部!

01 学科(専攻・専修・コース)

人文学の多彩な領域をカバーする12専修

02 特徴的な教育プログラム

1年間学んでから所属する専修を選択できる(P.05)

03 教育体制

101名の教員が少人数のゼミを展開

04 学びの環境

多彩な資格を取得可能(教員免許・学芸員など)

05 異文化理解

学部独自の留学プログラムを実施

06 卒業後の進路

多岐にわたる卒業生の就職実績

文学部の最新情報をチェックしよう!

学部ホームページ

さらに詳しい情報、最新のトピックスは、「学部ホームページ」をご確認ください。各専修の学びをより深く知ることができます。

関大先生チャンネル

関西大学の教員が研究・教育活動について語る“知の動画アーカイブ”、それが「関大先生チャンネル」です。学部のみどころな先生の講義を体験!

関西大学の最新情報をチェックしよう!

関西大学 入学試験情報総合サイト **Kan-Dai web**

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載! 社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。

関大 入試 検索



大阪(大阪梅田)からのアクセス
 阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)。すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車。「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都(京都河原町)からのアクセス
 阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車。「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス
 大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス
 JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス
 大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

文学部

総合人文学科

- 英米文学英語学専修
- 英米文化専修
- 国語国文学専修
- 哲学専修
- ヨーロッパ文化専修
- 日本史・文化遺産学専修
- 世界史・地理学専修
- 教育文化専修
- 初等教育学専修
- 心理学専修
- 表象文化専修
- アジア文化専修

FACULTY OF LETTERS

人生の可能性が広がる!

関西大学文学部 7つの魅力

関大文学部で、「人文学」の森を探検し、「幅広い教養」と「深い専門性」を身に付けよう!

1 12 専修の多彩な学び

バリエーション豊富な12専修からあなたに合った専門分野を見つけよう! そして自分の専門だけではなく、いろんな分野の学びを取り入れ、広い視野を身に付けよう!



2 幅広い言語や文化に対応するスペシャリスト教員が…

101 名在籍!



英語圏、ヨーロッパ、アジアなどさまざまな国・地域の文化の理解を深めるため、英語をはじめとした7言語に加えて、学部独自でギリシャ語、ラテン語、西アジアの言語(アラビア語、ペルシア語、トルコ語)、サンスクリット語、古代エジプト語の授業も提供しています。

3 専門分野は入学後1年をかけてじっくり選べる

1年次では自分の興味・関心に応じて、12専修の多彩な学びに触れながら進みたい専修をじっくり決めます。2年次にそれぞれの専修に進み、専門知識をしっかりと学んでいきます。



4 興味を深く追究できる少人数教育

文学部では、学生と教員が密接にコミュニケーションを取りながら、各学生の個性と関心に見合った少人数教育を行うことに主眼を置いています。2年次以降のゼミでは、教員のきめ細かい指導のもと、ディスカッションや発表を行うなど、自身の研究テーマを深めます。



5 取得できる資格が豊富!

文学部では、資格・教員免許取得に必要な単位が「卒業所要単位」に含まれているなど、どの専修に所属していても資格・教員免許取得に取り組みやすい環境が整っています。そのため、各専修の多彩な学びに対応する資格・教員免許の取得をめざす学生が多くいます。スキルを身に付けて将来のキャリアの幅を広げませんか?

※卒業所要単位…大学・学部で定めている卒業するために必要な単位です。

資格一覧

司書、司書教諭、学校司書、学芸員、地域調査士*1、GIS学術士*1

*1 世界史・地理学専修のみ

日本語教師がめざせる!

文学部では日本語教師養成講座を開講しています! 文学部のグローバルな幅広い学びを生かして日本語教師をめざしませんか? (日本語教師になるには、日本語教育能力試験に合格する必要があります)

6 教員免許を取得しやすい環境

中高教員免許の取得可能な教科

教科	
英語	公民△
国語	フランス語
社会□	ドイツ語
地理歴史△	中国語

※△印の教科は高一種のみ、□印の教科は中一種のみです。

初等教育学専修に進むと小学校教員(一種)の免許が取得できます。

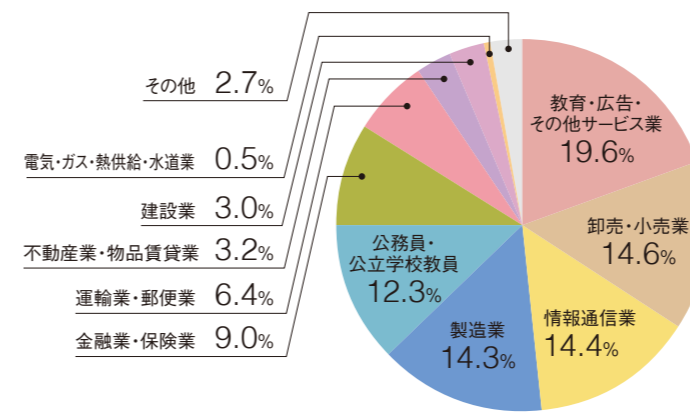
文学部における小学校教員採用試験の合格状況

採用年度	受験者数	合格者数	合格率
2026年度	20	15	75%
2025年度	37	28	76%
2024年度	39	29	74%
2023年度	28	20	71%
2022年度	33	23	70%

7 実は就職に強い!

就職率 **98.1%**

文学部の進路就職状況(2025年度卒業生)

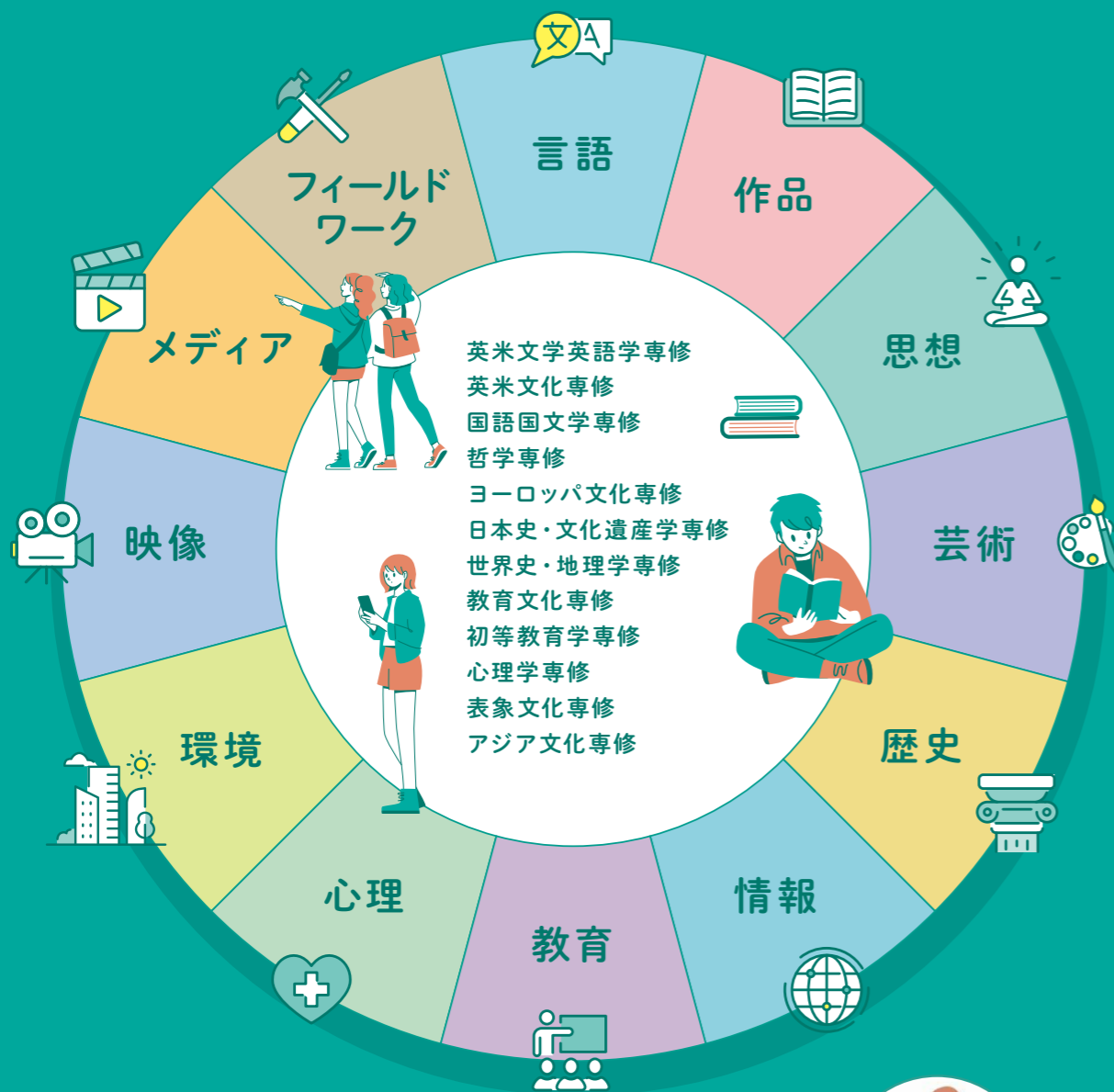


主な就職先(2025年度卒業生)

- 日本旅行
- ベイカレント
- シャープマーケティングジャパン
- 阪急阪神百貨店
- 渡辺パイプ
- NTTデータ
- KDDI
- 日本アイ・ビー・エム
- 読売新聞大阪本社
- 大塚製菓
- オムロン
- キーエンス
- ダイハツ工業
- パナソニックグループ
- 美津濃
- ユニ・チャーム
- YKK AP
- 国家公務員一般職
- 大阪府職員
- 京都市職員
- 大阪市職員
- 神戸市職員
- 大阪府教員
- 大阪府豊能地区教員
- 兵庫県教員
- 神戸市教員
- 奈良県教員
- 日本生命保険
- 野村證券
- 三井住友海上火災保険
- 三菱UFJ銀行
- 全日本空輸(ANA)
- 東海旅客鉄道(JR東海)
- 阪急電鉄
- 積水ハウス
- LIXIL
- 北陸電力
- 全国健康保険協会 など

人間と文化を豊かに学ぶ。

文学部では、100名以上の専門性の高い専任教員から多角的なサポートを受けて学びを深めることができます。1年次に「学びの扉」、「知へのパスポート」、「知のナビゲーター」といった入門授業を通じて各専修の特色を深く理解し、自分が学びたい分野を選定します。2年次からは選んだ専修で専門性を深めながら、さらに専修の枠を超えて履修することも可能です。1学科多専修制の柔軟なカリキュラムで主体的な学びを楽しんでください。



文学部独自の短期留学制度

文学部では、2027年度*より「短期派遣留学プログラム」を新設します！

本プログラムでは、実践的な語学力の向上に加え、現地に滞在しながら異文化体験を通じて国際感覚と豊かな人間性を養うことを目的とします。帰国後は、異文化理解の深化により、各専修での学びを深めるきっかけとなるでしょう。中・長期の留学をめざす文学部生の第一歩として最適なプログラムとなっています。本プログラムは、夏季休業期間中等に実施し、派遣先は本学と国際連携協定を締結している東アジア圏の大学を予定しています。また、所定の条件を満たすことによって単位認定を受けることができます。さらに、本プログラムには、大学からの補助(短期派遣奨学金)があることも魅力の一つです。

*2027年度以降の入学生が対象です。



関西大学文学部が新しくなりました。

芸術学美術史専修(美学分野)、哲学倫理学専修、比較宗教学専修が「哲学専修」に、世界史専修と地理学・地域環境学専修が「世界史・地理学専修」に、芸術学美術史専修(美術史分野)、映像文化専修、文化共生学専修が「表象文化専修」に、2026年度から新しい専修として生まれ変わりました。

新専修

1

哲学専修

関西大学に哲学科が設置されたのは1928年。その伝統を担った学問諸分野が再結集しました。哲学、倫理学、宗教学、芸術学——これらの学問分野は「真理とは何か」「何が存在するのか」「ひとの生き方とは」「あるべき社会のあり方とは」「なぜ人間は人間を超えた存在に惹かれるのか」「美とは何か」といった問いで知と私たちの生の根幹を揺るがします。この知的冒険へと一歩踏み出す諸君をお待ちしております。(写真は何百年もかけて完成したケルン大聖堂。地道な哲学的思索と天上への憧れとゴシック的美を体現しています)。



新専修

2

世界史・地理学専修

この専修には世界史コースと地理学コースがあり、それぞれ専門的な学びが重視されます。世界史コースでは、いまに残された史料を手がかりに、古代から現代へ至る世界各地の歴史と対話し、人類の将来を展望する視野を養います。地理学コースでは、日本内外のフィールドワークにより、日常生活に関係の深い地域の現状分析から課題解決まで実践的に学びます。中高の教員免許をはじめ特色ある資格も取得しやすい環境です。テーマの範囲は無限大。自らの関心に応じて学びを深められる懐の広さがこの専修の魅力です。



新専修

3

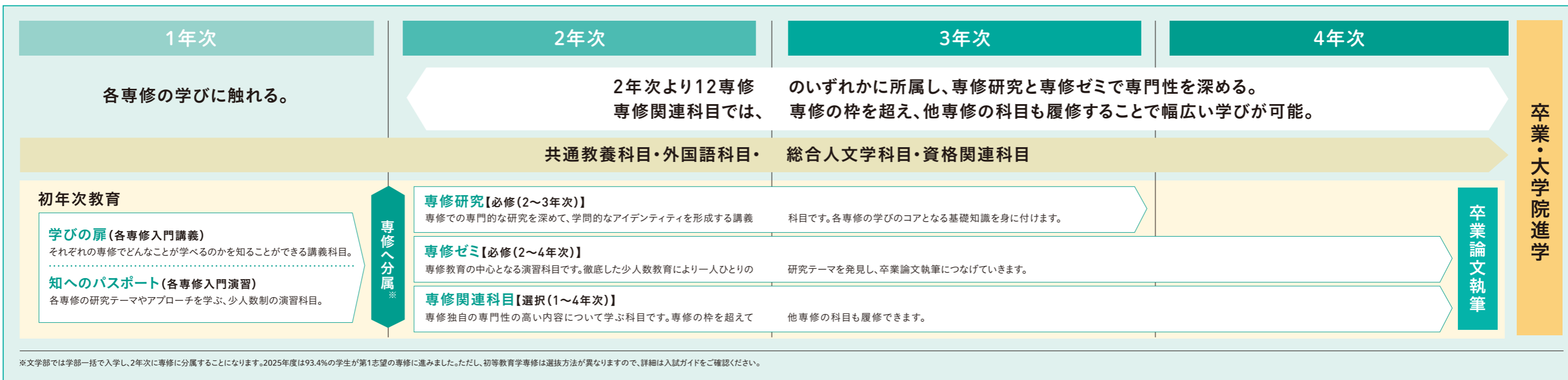
表象文化専修

表象文化専修では、美術史や映画研究を学び、絵画・彫刻・デザイン・写真・映像などの幅広い芸術表現を読み解く力を養います。また、文化史・文化人類学・視覚文化論・メディア論などの立場から、芸術作品だけでなく、メルヘン・民俗音楽・食文化などの伝承文化、広告・アニメ・マンガなどのポピュラーカルチャー、テーマパーク・ビデオゲーム・ソーシャルメディアなどのメディアの表現も学ぶことができます。たくさんの文化的表現に触れ、私たちの社会の中にある文化の多様性への理解を深めましょう。



3つの POINT

- ① 1年次に自分の興味・関心を見極めてから、2年次に専修を選択できる。
- ② 専修をまたがって授業を履修し、幅広い知識を身に付けることができる。
- ③ 複数の資格・教員免許の取得にもチャレンジしやすい環境が整っている。



先輩たちの学びデザイン

興味や目標に合わせて、人生を豊かにデザインするために学ぼう！

時間割表

	月	火	水	木	金	土
1限目	朝鮮語2b					
2限目	古記録を読む	世界の文学を味わう		国文学史概説b	現代映像芸術論	
3限目	健康・スポーツ科学実習b(卓球)	英語2b 中級		朝鮮語1b	健康・スポーツ科学論	
4限目	国語学概論b	現代都市の生態とエスニシティ	英語1b 中級			
5限目		学びの扉(表象文化)	総合人文基礎講義(文化接触・文化衝突)	知へのパスポートb(表象文化)		

PICK UP①

学びの扉(各専修)

興味のある専修の先生方の講義をリレー形式で受講できます。私は映像に興味があり、表象文化専修を選択。映画やドラマを見るときに監督の意図やカメラワークの意味を考えるようになりました。

PICK UP②

総合人文基礎講義(文化接触・文化衝突)

日本の妖怪譚の多くが海外との接触で生まれたことや、和製外来語の成り立ちなど、異文化の変容・受容・消滅について事例を元に学べます。聴講生も多く、幅広い教養が身に付く講義です。

PICK UP③

国文学史概説

歴史の授業で聞いたことがあるような文学者や作品を深く掘り下げます。実際の作品に触れるだけでなく、当時の文学運動や時代背景なども同時に学ぶことで、文学をより深く味わえます。

興味の幅を広げてくれる授業を多数履修しながら、国語科教員をめざしています。

文学部では1年次のうちに「学びの扉」や「知へのパスポート」で、多様な専修の授業を受けることができます。私は国語科教員をめざしているため、国語国文学専修の科目、教職科目を中心に履修しています。その一方、趣味で写真撮影をしているので映像系の科目も多めに受講中。プライベートでは作詩も楽しみ、写真と詩による自主制作本をリリースするなど、「やりたいと思ったことに挑戦する」毎日を送っています。



▲自作の詩集を制作したり、友人のライブで撮影を担当したりと楽しんでいます！

1年次生 大西 悠斗

時間割表

	月	火	水	木	金
1限目					
2限目					外国語演習3(中国語)
3限目	英米文学講義3	英米文化ワークショップ2a		英米文化専修研究3	Science of Washoku(Japanese Cuisine)
4限目	留学のための英語スキルアップ	英米文化専修ゼミ3		現代科学の展開	Intensive English Program 3
5限目	ラテン語1	Understanding Cross-Cultural Communication			万博に学ぶ未来社会のデザイン

PICK UP①

Intensive English Program 3

アメリカのポップカルチャーやマイノリティなど、幅広いテーマを英語で学習。プレゼンでは自身のアメリカ留学の経験も交えて発表しました。

PICK UP②

英米文化専修ゼミ3

映画やミュージカルを通して、イギリスの文化や歴史について学んでいます。卒業論文では大好きな『レ・ミゼラブル』を取り上げます。

PICK UP③

外国語演習(中国語)

「中国語検定」の過去問読解のほか、ゲーム形式の楽しい授業も。初心者からネイティブまで、多様な学生がともに学びます。

午後中心の履修でゆとりを確保。勉強もプライベートも充実しています。

履修は3限以降の科目が中心。ゆとりをもった時間割を組み、空き時間に課題に取り組んだり、友人と食事や映画を楽しんだり、メリハリのある大学生活を送っています。専修では、入学前から関心のあった『ハリ・ポッター』などのサブカルチャーや、英語圏の文化を研究。2年次秋のアメリカ留学では言語の多様さを知り、言語と言語の結びつきや歴史的背景を探究する面白さに目覚めました。



▲3年間続けているチーズケーキ店のアルバイト。先輩の指導や常連客との会話がやりがいです！

3年次生 大橋 実結

※学生の年次は取材時のものです。

英米文学英語学専修

英語の小説、演劇、詩の魅力にはまる。英語の文法、音声、歴史を学び、英語の本質を理解する。



専修内容

英米文学と英語学の2つの領域を横断し、英語という言葉の魅力と仕組みに迫ります。英米文学に関心がある人は、小説・演劇・詩の名作を原文で味わい、文学の言葉の豊かさから広い視野を育みましょう。英語学に関心のある人は、英語の音声、文法と意味、日本語との比較(翻訳)、英語史など多彩な学修を通じて、言葉への関心を深めます。英米文学と英語学の多様な学びで、英語の新しい門戸を開きましょう。

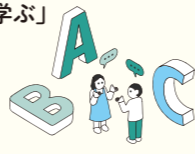
ココが魅力!

「英語で文学の世界に浸る」



数ある名作には人を虜にする力があります。自分の関心に応じてさまざまな作品世界を旅し、座右の書を見つけましょう。

「英語という言葉そのものを深く学ぶ」



英語の文法や音声、その歴史には魅力がたくさんあります。英語そのものの仕組みを理解して、ことばの本質に迫ります。

先輩からのメッセージ

絶えず英語に触れながら、文学や映像の意味や関係性を深く分析します。

英語に触れながら、英語と文学をじっくり味わえるのがこの専修の魅力です。私は広い意味での「物語」に興味があり、英語圏の映画研究に取り組んでいます。先日取り上げたのは「グラン・トリノ」という作品で、時代背景や人種などを踏まえながら、登場人物の関係を考察しました。映像をありのままに受け入れるだけでなく、カメラの映し方や俳優の目線などから、あるシーンが何を意味しているのかを文学的に分析、解釈することにも面白さを感じます。



3年次生 丁 謙永

国語国文学専修

日本語という“ことば”とともに日本文学の“こころ”を探求する。



専修内容

私たちは言葉で物事を考えます。その思考は文学や文化に表れ、今に生きています。国語国文学専修では、国文学と国語学の2つのコースに分かれ、国文学コースは各時代の文学作品や文学者を、国語学コースは日本語の音韻・表記・語彙・文法などを対象とし、日本人の思考・文学・文化を追究します。また、日本語教育関係の科目を開講し、日本語教師養成講座の修了に向けて支援します。

ココが魅力!

「古い資料を理解する」



過去の日本文学・日本語を示す資料である古い書籍・書簡・絵画などに触れ、見方や内容が理解できず、くずし字もすぐに慣れます。

「日本を論理的に説明する」



口頭でも文章でも、日本語の意味の説明は意外と難しいものです。根拠を持って、論理的に分かりやすく説明できるようになります。

先輩からのメッセージ

読み解き、味わう楽しさ。日本文学を分析し、その価値を伝える力が育まれます。

あらゆる時代の日本文学について学ぶことができる環境で、私は主に「源氏物語」の研究を行っています。古典文学に難解なイメージをもつ人もいますが、深く読み解くことで、現代と共通する感覚や、その時代の言葉がなぜ必要とされたのか、ひとつひとつの要素が場面展開にどのような影響を与えているかを知ることができます。学びを通して「分析的に読む力」を身に付け、作品を深く味わい、その魅力を伝える力を養うことができました。



3年次生 松田 壮一郎

英米文化専修

英語圏の文化を学際的・横断的に研究するとともに、実用的な英語運用能力を高める。



専修内容

英米文化専修では、アメリカ、イギリスを中心とする英語圏の文化を学びます。英米の映画、美術、食文化、そして歴史と政治文化の基礎を幅広く学ぶ英米文化専修研究のほか、少人数のゼミでの表象文化論、ジェンダーとセクシュアリティ、環境文化論、消費文化研究、人種やエスニティーなど、さまざまな視点から英米文化をより深く研究していきます。

ココが魅力!

「英語で文化を学ぶ」



外国人の専任教員が半数を占めるという特徴を生かし、日本にいなから専門科目を英語で学ぶことができる教育環境を提供しています。

「自己発信を重視」



ディスカッションやプレゼンテーションに積極的に参加し、自ら定めたテーマを探究することで、クリティカルな思考を養います。

先輩からのメッセージ

英米文化の背景を知り、多角的な視野から既存の価値観を問い直します。

言語と文化の両面を深く学びたいと考え、英米文化専修を選択。ゼミでは「ディズニー映画の人種表象」を研究しています。例えば「プリンセスと魔法のキス」は、黒人女性が食堂を開くという夢を叶える物語です。しかし、そこに歴史的な背景を重ねると、人種や性別に対するステレオタイプな価値観が潜んでいることに気づきます。留学中にマイノリティとして扱われた個人的な経験を重ねながら英米文化の背景を知り、多角的に捉える力を養っています。



3年次生 吉田 東

哲学専修

普段あたりまえだと思っていることを根本から考えなおす——すると、新しい景色がみえてくる。



専修内容

哲学の語源はギリシア語のphilosophia。「知の探求」を意味します。知を求め続けるとは、自分が知者だとうぬぼれないこと。ですから、哲学はいつでも自分自身を、世界をあらためて問い直す営みにほかなりません。哲学専修では狭義の哲学(認識論や存在論)だけでなく、新たな見方で世界を一新させてみせ、多様な価値観へ私たちの眼を開かせる倫理や宗教や芸術も対象として哲学的探究を進めます。広い関心と深い思索——それが哲学専修です。

ココが魅力!

「思考を通して自己を創る」



哲学専修がめざす人——存在に驚き、問いを育む。正確な言葉で、論理的に考える。他者に耳を傾け、根拠をあげて自説を述べる人。

「生活、作品から考える」



「本を読むだけ?」いやいや。人々の暮らしから宗教を考える。芸術作品という物に向き合って考える。どちらも哲学専修での学びです。

先輩からのメッセージ

学びを通して自分自身を知り、人生を豊かにすることができます。

私は元々宗教に対して少しネガティブなイメージを抱いていました。しかし1年次の授業で、「サンタクロースは目に見えないけれど、人々の心を豊かにしている」という話を聞いて、人間が神や宗教を信じる心理に興味をもち、この専修を選択。そして古代インド仏教などを学ぶ中で、自分の価値観が広がったり、他人と比べることがなくなったりと、人生を送る上で大切にしたい考え方をたくさん得ることができました。



3年次生 松尾 有咲

ヨーロッパ文化専修

歴史あるヨーロッパの豊かな文化を学び、幅広い知識とみずみずしい感性を身に付ける。



専修内容

本専修では、一度は訪れてみたいけれどよくは知らないヨーロッパのもつ面白さを、より明確に理解することをめざします。まずヨーロッパの言語・文学・文化の基礎知識を幅広く学びます。そして少人数ゼミで仲間たちと切磋琢磨しながら、自らの研究テーマを深く追究し、卒業論文作成へとつなげていきます。また、独仏語の運用能力向上のため、ネイティブ教員による授業を設け、さまざまな留学プログラムも推奨しています。仏検・独検といった資格取得も支援しています。

ココが魅力!

「未知の言語に挑戦」



日本語や英語にはない仕組みをもったフランス語とドイツ語で、思考の世界を広げます。仏検・独検にも挑戦しましょう。

「言語・文学から音楽・ファッションまで」



言語・文学にとどまらず、音楽、ファッション、食文化等々、いろいろな研究テーマがあります。

先輩からのメッセージ

文化や歴史を文献で学んだことが、訪独のモチベーションになりました。

ヨーロッパについてより深く知りたいと思い、ヨーロッパ文化専修を選択しました。現在は、ドイツの動物保護施設「ティアハイム」の歴史に関するドイツ語の本の日本語訳を進めています。ドイツにはペットショップがほとんどなく、動物保護施設からペットを譲り受ける場合が大半です。先日旅行でドイツを訪ねた際には、アパレルショップなどの店舗にペットを同伴して入店する方を見て、日本との文化の違いを実際に感じる事ができました。



3年次生
安澤 侑香

世界史・地理学専修

時間×空間で世界がみえる。私たちが生きる世界を、立体的にとらえる力を養う。



専修内容

世界史・地理学専修では、時間と空間という2つの軸から現代世界の成り立ちを考えます。世界史コースでは、世界各地の古代から現代へ至る人類の歩みを学ぶことで、複雑化する世界の現状を理解し、将来を展望する力を養います。地理学コースでは、フィールドワークと実験や統計に基づくデータ分析を基盤として、現代社会の諸問題に対して解決策を提案する力を養います。過去と現在、世界と地域に視野を広げ、主体的に行動できる人材を養成します。

ココが魅力!

「世界へ飛び出す」



世界各地の歴史を広い視野で比較しながら学ぶことができます。無限に広がる研究テーマが、あなたを待っています。

「地域調査士、GIS学術士」



資格を目指すことで現代社会に通用する地理学的技能が習得できます。さまざまな場所で活躍できる未来があなたを待っています。

先輩からのメッセージ

データと足で地域を読み解き、景観の「なぜ」を解き明かします。

昔から地図を眺めるのが好きで、特に地域の成り立ちに興味がありました。地理学コースでは、GIS(地理情報システム)などの分析技術と、現地を歩くフィールドワークの両輪で学びます。先日は宝塚市で調査を行い、事前に資料で確認した住宅開発の歴史を、実際の街並みを歩きながら再確認。風景の背後にある意味を読み解き、ものごとを立体的に理解する面白さを実感しました。今後は司書課程で学んでいる知識を生かし、地域資料と地理学をかけた研究に挑戦するつもりです。



2年次生
岡田 潤生

日本史・文化遺産学専修

日本史学と文化遺産学の視点から、人類の過去・現在・未来を考える。



専修内容

日本の政治・社会・文化・宗教および文化遺産などの多様なテーマを、主として歴史という時間軸に沿って、幅広い視点から総合的に学びます。古代史・中世史・近世史・近現代史など文献史料を扱う分野、遺跡・遺物を扱う考古学、祭りや習俗を扱う民俗学のほか、日本を中心とする文化遺産・世界遺産、地域に残る有形無形の文化財を扱う文化遺産学など、多くの研究分野を用意して、学生のさまざまな興味・関心に応えます。

ココが魅力!

「免許・資格取得者も多数」



多くの学生が中学社会科や高校地歴・公民科の教員免許、学芸員の資格などを取得しています。学校や博物館で活躍する先輩も大勢います。

「フィールドワーク」



歴史や文化の現場を訪ねることを大切にしています。関西大学博物館や飛鳥のセミナーハウスを活用したフィールドワークも行っています。

先輩からのメッセージ

鎌倉時代の日記史料などを調べ、論文を読み解くことで研究を進めています。

本専修では、日本史の各時代の政治や文化史、女性史などを学びます。私は鎌倉幕府における北条氏の立ち位置に興味があり、鎌倉時代の政治背景や宗教などを調べています。大学に入るまでは論文を読んだことがなく、最初は内容が理解できませんでした。しかし資料を探す過程で中世史に関する知識が身に付き、論文も次第に読み解けるようになっていきました。また、学芸員の資格取得をめざして博物館実習を履修し、文化財・資料の取り扱い方も学んでいます。



3年次生
田中 志佳

教育文化専修

好きなことを学べて、仲間と共有できる。教育や人の成長を多面的に考えよう!



専修内容

教育は、学校をはじめ、家庭、地域社会、会社など、私たちの生活のさまざまな場所、場面で生涯にわたって行われています。また教育は社会や文化によって異なり、国や時代によっても変わります。多様な価値観が大切にされる現代社会で行われる教育について学んでみませんか。教育や人の成長についてフィールドワークやデータ分析を行ったリ、思想的な背景を考えたりすることによって、教育を多面的に学べるプログラムを用意しています。

ココが魅力!

「フィールドワーク」



学校や図書館、博物館、子ども食堂や学習支援団体などでフィールドワークを行うことで、さまざまな教育の現場の実際を知ることができるとともに調査スキルを身に付けることができます。

「『使える』資格の取得」



中高の教員免許、図書館司書、司書教諭などの資格取得にチャレンジする学生が多く、実際に社会に出て「使える」資格を身に付けることができます。

先輩からのメッセージ

教育を社会や文化の視点から捉え直し、広い視野や実践力を身に付けます。

「教える・教えられる」という関係性にとどまらず、教育を社会や文化とのつながりから捉える点が本専修の特徴です。日中の教育の違いに対する実感の起点に、統計やインタビューなどの調査手法を習得し、対象を客観的に分析する力を磨きました。さらに、専修研究で外国人向け防災マップを企画した際は、当事者の視点に立つことの重要性を実感。調査や議論を通じて、自身の感覚だけでは見えない課題に気づき、多角的な視点で教育について考える力が養われました。



3年次生
劉 析怡

初等教育学専修

現場に学び、教育の今を知る責任感と実践力を備えた、信頼される小学校教師をめざす。

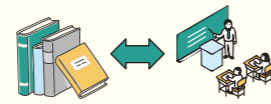


専修内容

初等教育学専修は、小学校教諭一種免許状を卒業と同時に取得できる、小学校教師の養成をめざす専修です。初等教育学専修では、子どもへのあたたかい真摯なまなざしと責任感をもち、優れた実践力を身に付け、子ども、保護者、社会から信頼される教師を育てていきます。なお、入学定員50名の内訳は、30名(一般入試選抜)が1年次から、20名(専修分属)が2年次から本専修に所属する想定です。ただし、2年次から分属できる人数は50名定員から実際の1年次入学者数を減じた人数とするため、毎年度異なります。

ココが魅力!

「往還型の学び」



「教職リサーチ」など小学校現場(実践)と大学(理論)との往還型の学びをはじめ、体験や実習を通じた学びのための科目が用意されています。

「実践に即した学び」



教師になるために必要な知見を学ぶ教職科目が用意され、「教育方法学(初等)」や各教科教育法など、授業実践に必要な知識や技能を習得する科目を継続的に学びます。

先輩からのメッセージ

文献研究を通して視野を広げ、「道徳」の授業の在り方を研究しています。

本専修は文学部にある教職課程なので、実践だけでなく文献からも深く学びます。小学校教育に関するあらゆるテーマをさまざまな視点から考え、自分自身が気になる点を深掘りできるのが魅力です。私は、いじめ問題を防止するために2018年度から小学校で特別の教科となった「道徳」について研究を進めています。単に「これが正しい」と教えるのではなく、なぜ道徳が必要なのか、なぜいじめが起きるのかという点から、授業を行う教員になろうと思います。



3年次生
外園 優衣

表象文化専修

芸術や文化に触れ、多様な視点から新しい「発見」をする。



専修内容

世界には、人々が自分たちの考えや想いを「あらわす」ために生みだされてきたものであふれています。たとえば絵画、彫刻、映画、音楽、メルヘン、ゲーム、テーマパーク、水族館、食など——本専修ではこうしたものをすべてを「表象文化」ととらえ、美術史、映画研究、メディア論、文化史、文化人類学など多彩な専門の教員とともに、さまざまな表象がいかんして生まれ、また私たちの生活とどのように関わっているのかを学びます。

ココが魅力!

「芸術への理解を深める」



絵画や彫刻などの美術や、映画をはじめとする映像文化など多様な芸術を鑑賞するしなやかな感性を養います。

「多様な文化に親しむ」



伝統的な文化からサブカルチャーまで、さまざまなジャンルの表象に出会い、体験し、学びへとつなげることができます。

先輩からのメッセージ

「比較文化」の視点で民謡を分析。変化を捉え、次世代につなぎます。

3歳から続けている日本民謡を学問として探究したいと考え、本専修へ。2年次の演習では「民謡の衰退」をテーマに、競技人口の減少などを調査しました。一方で、他国の食文化の変遷などを学ぶうち、文化は常に形を変えて継承されることを実感。民謡の現状についても、単なる衰退ではなく、「変化」であると前向きに捉える視点を得ました。多様な文化と比較・分析することで、民謡の新たな可能性や、次世代への継承のあり方を模索しています。



2年次生
増田 吏桜

心理学専修

思考・行動・感情を科学的にとらえ、人間の発達・芸術・文化を深く理解する。



専修内容

本専修では、人間の思考・感情・行動についての最先端の学際的な動向にも目を向けつつ、ことば、宗教、文化、アートといった人間が作り出す物もテーマとして取り上げ、魅力的なカリキュラムを展開しています。文学部の他専修との違いは、実験法、アンケート調査、インタビュー調査、行動観察法、フィールドワーク、会話や語りの分析、脳機能測定といった多様な手法を用いる点です。そうした方法を駆使し、人間の成長や発達の多様性、人生の意味について掘り下げていきます。

ココが魅力!

「ユニークで魅力あふれる」



従来の心理学の枠組みや資格制度に縛られない、自由で魅力的な心理学の在り方を追究しています。

「幅広く深く掘り下げる」



心理学のみならず多様な専修での学びを通して、人間の「こころ」の理解をいっそう深める機会を得ることができます。

先輩からのメッセージ

「心」と「美」の関係を解き明かし、感性を客観的に捉える力を養います。

本専修では、「心」について幅広い視点からアプローチします。私は「神経美学」の観点から、美しさや芸術と脳の関連について研究中です。卒論では、畏怖の念と美が混在する「崇高」という感情について、画像を用いた実験を通して検証。プライベートで楽しんできた書道や演劇の経験とも通じる「間的美」をはじめ、「感性」を科学的な数値や反応として客観的に捉え直す過程がこの研究の醍醐味。卒業後も大学院へ進み、さらに探究していきます。



4年次生
元井 希星

アジア文化専修

アジアの伝統と現代、その豊富で多彩なテーマに触れ、アジア文化をトータルに理解する。



専修内容

アジア文化専修では「伝統文化」はもちろん、「現代のアジア」という視点からもアジア諸国の文化をトータルに理解する国際人の育成をめざします。【アジア文化コース】では文献資料のみにとどまらず、衣・食・住から民衆文化まで幅広い文化事象を学習の対象とし、アジア諸地域に関する知識を積み重ねていきます。【中国言語文化コース】では中国語圏文化の学びを深め、言語／文学／異文化接触など多分野の研究に取り組みます。

ココが魅力!

「多様なアジアを知る」



アジアは日本にとって身近で関係も緊密です。本専修では、アジア諸地域の多様性に即して幅広いテーマを学ぶことができます。

「そして日本を知る」



中国と朝鮮半島は、特に日本とのつながりが深い地域です。アジア文化への探究を通じて、日本への理解を深めます。

先輩からのメッセージ

中国の文化から言語へと関心が広がり、将来の目標ができました。

K-POPや中国のオーディション番組への興味をきっかけに、中華圏の言語と文化に関心をもちました。中国の絵本から「春節」の考え方や過ごし方を知ったり、日本から中国に伝わった漢字語について調べたりと、日本と中国の言語、文化の違いを学んでいます。興味の中心が衣食住の文化やエンタメから、中国語という言語そのものに移ってきたため、台湾へ留学することを決めました。中国語の教員免許取得も視野に入れ、学びを深めたいと思います。



2年次生
谷村 優月

専任教員

※2026年4月現在

英米文学英語学専修

- ▶秋元秀紀 教授 現代アメリカ文学、映画研究
- ▶岩田彩志 教授 英語学、語彙意味論、構文理論
- ▶高橋美帆 教授 英語圏の詩文学と演劇研究、比較文学
- ▶リチャード・ドノバン 教授 文学翻訳学、英米文学
- ▶鍋島弘治朗 教授 言語学、認知言語学、メタファー
- ▶ルチャーナ・カルディ 准教授 英日比較文学、アジア系アメリカ文学
- ▶熊谷学而 准教授 音声学・音韻論
- ▶野々宮鮎美 准教授 英語学、英語学、語用論

英米文化専修

- ▶板倉徹一郎 教授 現代イギリス小説、映画・翻訳研究
- ▶井谷聡子 教授 ジェンダー・セクシュアリティ研究、身体文化
- ▶ジェイムズ・カーワン 教授 消費文化研究、思想史
- ▶小林剛 教授 アメリカ文化研究、アメリカ美術史
- ▶マーク・メリ 教授 環境文化論、食文化論
- ▶ラファエル・ロンペール 教授 アフリカ系アメリカ人の文学と文化研究

国語国文学専修

- ▶村田右富実 教授(国文学) 上代文学～万葉集の研究～
- ▶松本大 教授(国文学) 中古文学～王朝物語と和歌の研究～
- ▶岸本理恵 教授(国文学) 中古文学～和歌文学の研究～
- ▶大島薫 教授(国文学) 中世文学～中世文学ならびに日本文化論の研究～
- ▶山本卓 教授(国文学) 近世文学～近世小説の研究～
- ▶関肇 教授(国文学) 近代文学～現代文学の研究～
- ▶増田周子 教授(国文学) 近代文学～現代文学の研究～
- ▶乾善彦 教授(国語学) 国語学～日本語史の研究～
- ▶日高水穂 教授(国語学) 国語学～現代日本語・方言の研究～
- ▶森勇太 教授(国語学) 国語学～近代語・敬語史研究～

哲学専修

- ▶薄井尚樹 教授 現代哲学、心の哲学
- ▶酒井真道 教授 仏教・インドの哲学、古文書学、比較思想
- ▶品川哲彦 教授 現代哲学、倫理学・応用倫理学
- ▶中澤務 教授 西洋古代哲学、倫理学
- ▶水野友晴 教授 日本の宗教哲学、京都学派、西田幾多郎・鈴木大拙
- ▶三村尚彦 教授 現象学、現代哲学
- ▶若林雅哉 教授 芸術学、演劇論、ギリシア悲劇、小劇場運動
- ▶小杉麻李亜 准教授 文化人類学、イスラームの聖典、フィールドワーク、暮らしと宗教
- ▶平出喜代恵 准教授 倫理学、生命倫理学

ヨーロッパ文化専修

- ▶大久保朝憲 教授 フランス語学、言語学
- ▶工藤康弘 教授 ドイツ語の歴史、英語とドイツ語の比較
- ▶塚島真実 准教授 近現代フランス文学、詩
- ▶友谷知己 教授 古典主義文学、フランス演劇
- ▶林英哉 准教授 ドイツ文学、障害文学、ナチス
- ▶リコ・ヨコヤマ・アドリアナ 教授 談話分析、日仏比較文化論
- ▶ローベルト・F・ヴィットカンプ 教授 比較文化、比較文学、ドイツ事情

日本史・文化遺産学専修

- ▶原田正俊 教授 日本中世史、仏教史
- ▶小倉宗 教授 日本近世史、政治史
- ▶官田光史 教授 日本近現代史、政治史
- ▶井上主税 教授 韓国・朝鮮考古学、日本考古学
- ▶黒田一充 教授 日本民俗学、祭り・生活文化
- ▶村元健一 教授 文化遺産学、博物館学
- ▶高久智広 教授 文化遺産学、博物館学
- ▶櫻木潤 准教授 日本古代史、社会と文化

世界史・地理学専修

- ▶池尻陽子 教授 中国近世・近代史、内陸アジア史
- ▶嶋中博章 教授 西洋近世・近代史、フランス史
- ▶森部豊 教授 中国古代・中世史、東西文化交流史
- ▶森本慶太 教授 西洋近現代史、ドイツ語圏の歴史
- ▶橋爪烈 准教授 西アジア史、アラブ・イスラーム史
- ▶紺谷由紀 助教 西洋中世史、ビザンツ史
- ▶渡井葉子 助教 西洋古代史、古代オリエント史
- ▶黒木貴一 教授 自然地理学、地図学、日本、アジア
- ▶土屋純 教授 都市地理学、経済地理学、日本、南アジア
- ▶筒井由起乃 教授 農業・農村地理学、社会地理学、アジア
- ▶松井幸一 教授 歴史地理学、村落地理学、日本、アジア

教育文化専修

- ▶赤尾勝己 教授 生涯学習論、学習社会学、社会教育
- ▶多賀太 教授 ジェンダーと教育、家庭教育、子ども社会学、教育社会学、人権教育
- ▶田中潤一 教授 教育哲学、人間形成思想
- ▶広瀬義徳 教授 教師の働き方、外国籍教員、公教育の市場化・産業化、教育制度学
- ▶村上泰子 教授 学習を支える図書館とその技術、図書館員の養成、図書館情報学
- ▶本村康哲 教授 教育工学、学習支援システム、相互評価
- ▶山ノ内裕子 教授 教育人類学、異文化間教育、移民・マイノリティ研究
- ▶若槻健 教授 人権を基盤とした学校教育研究、学校と地域の連携、教育社会学
- ▶渡邊智山 教授 学びのサポートと仕掛けの制作、情報リテラシー教育、図書館情報学

初等教育学専修

- ▶石井康博 教授 算数科教育、教育学
- ▶岩崎保之 教授 教育学、教科教育学
- ▶山住勝広 教授 教育学、教育方法学、学習・発達理論
- ▶山田直之 准教授 教育哲学、教育思想史、国語教育
- ▶山野有紀 教授 英語教育、英語教授法

心理学専修

- ▶石津智大 教授 芸術と感性についての脳と認知
- ▶加戸陽子 教授 神経発達症を伴う子どもの理解と支援
- ▶木戸彩恵 教授 文化と発達
- ▶串崎真志 教授 性格と個人差
- ▶菅村玄二 教授 からだの感覚やしぐさと感情の関係
- ▶比留間太白 教授 ことばとこころの関係
- ▶村上祐介 准教授 宗教性/スピリチュアリティ、身体教育

表象文化専修

- ▶今井澄子 教授 中・近世の西洋美術史、宮廷美術とパトロネージの研究、映像メディア研究
- ▶門林岳史 教授 映像メディア研究
- ▶笹川慶子 教授 アメリカと日本の映像文化研究
- ▶澤井一彰 教授 オスマン帝国史、地中海世界の食文化、比較食文化史研究
- ▶菅原慶乃 教授 中国語圏の映像文化研究
- ▶平井章一 教授 欧米の近代美術史、現代美術、西洋美術史
- ▶堀潤之 教授 フランスを中心とするヨーロッパの映像文化研究
- ▶馬定延 教授 現代美術と映像メディア研究
- ▶溝井裕一 教授 動物園(水族館)・テーマパークの文化史、海洋文化、昔話研究
- ▶森貴史 教授 ドイツ文化論、サブカルチャー研究、ヨーロッパ旅行史
- ▶青木敬 准教授 文化人類学、クレオール文化研究、異文化接触論
- ▶桑野梓 准教授 日本及び東洋美術史(仏像彫刻史)

アジア文化専修

- ▶篠原啓方 教授 朝鮮古代史・韓国現代文化
- ▶二階堂善弘 教授 アジア諸地域の宗教文化
- ▶藤田高夫 教授 東アジアの文化交渉学・中国古代理
- ▶吉川和希 准教授 ベトナムの歴史と文化
- ▶六車楓 助教 中国の思想と文化
- ▶池田智恵 教授 中国の近現代文学
- ▶石崎博志 教授 中国語学・東アジアの言語学
- ▶長谷部剛 教授 中国の古典文学と詩歌
- ▶韓淑嬭 准教授 日中文化交流史・思想史

客室乗務員



日本航空株式会社

世界史専修(現 世界史・地理学専修)

山崎 萌峰さん
(2023年3月卒業)

Q1 どんな仕事内容?

A 客室乗務員には保安要員とサービス要員の二つの役割があります。安全を最優先に、快適に空の旅をお過ごしいただけるよう最高のおもてなしを提供します。お客さまの表情が安心や喜びに変わる瞬間に立ち会えることや毎異なる出会いがあることも、この仕事ならではの魅力です。

Q2 この仕事を選んだきっかけは?

A 世界史を学ぶ中で多様な文化に触れ、国際的な環境で人と関わる仕事に魅力を感じました。複数の語学を学んだ経験を生かして、日本のおもてなしを世界に届けたいと思い航空業界を志望し、中でも現場の最前線に立ち、多様な価値観に触れる客室乗務員を目指しました。

Q3 在学中の学びが今どう生きている?

A 「多角的に物事を捉える姿勢」や「背景を踏まえて考える習慣」が役立っています。また多様な価値観に触れた経験は、お客さまとの信頼関係の構築に生きていると感じます。複数の語学を学んだことで、国籍を問わずコミュニケーションが取れる点も強みです。

中学校教員



長崎県川棚町立
川棚中学校

日本史・文化遺産学専修

山下 翼さん
(2022年3月卒業)

Q1 どんな仕事内容?

A 子どもたちと日々関わり、笑い合ったり叱ったりしながら信頼関係を築いていく中で、ふとした瞬間に成長した姿を見ることがあります。子どもと根気よく向き合い、成長と一緒に喜ぶことができるのが教師という職業の魅力、やりがいであると感じています。

Q2 この仕事を選んだきっかけは?

A 小学生の頃から、将来は教師になって働きたいという思いがありました。また社会科が好きで、人に勉強を教えるのが好きであること、人と関わって楽しく話すことが好きなことなどを総合的に考え、この職種を選びました。

Q3 在学中の学びが今どう生きている?

A 教職および社会科に関する知識を多く学ぶことができました。また卒業論文の執筆においては、テーマの選定から調査内容の検討、研究の進行管理を考え、実行しました。この経験は教職だけに限らず、社会人として必要なスキルであると深く実感しています。

大学院への進学

学部での研究を発展させて研究者をめざすだけでなく、教職や学芸員などの専門の能力をレベルアップさせたい人の中には、大学院に進学する道があります。文学部からは文学研究科、東アジア文化研究科への内部進学入試を受験できます。大学院は、博士課程前期課程(2年または3年)と博士課程後期課程(3年)からなり、文学研究科は総合人文学専攻に前期課程14専修・後期課程10専修、東アジア文化研究科は前期・後期課程とも文化交渉学専攻のもとに3つの領域を設置しています。修了生は、研究者、教員や学芸員等として活躍しています。

大学院修了後の就職先 日本製鋼所、NHKテクノロジーズ、読売新聞大阪本社、進研アド、国家公務員一般職、大阪府教員 など

Q1 大学院に進学した理由は?

A 将来は教員になろうと考え、学部で中・高の教員免許を取得しました。さらに小学校教員免許の取得をめざしつつ、現代の児童生徒の育成について研究を深めたいと考えて、大学院に進学することを決めました。

Q2 どんな研究に取り組んでいる?

A 海外にルーツをもつ児童に対して、どのような支援がされているのかを調査しています。関係者へのインタビューを通して、外国人の保護者との連携に課題が生まれやすいと考察。教育現場への理解が深まりました。



文学研究科 教育学専修
小泉 朋佳
博士課程前期課程2年次生

※学生の年次は取材時のものです。

関西大学文学部をめざす皆さんへ

知の指向性を拓く文学部

文学部はあなた自身の専門性を高めます。専門性という「一つのことしかできない」と勘違いされやすいのですが、そうではありません。それぞれの人の指向性に適した専門性を培うことは、知の汎用性の基盤形成です。文学部には多彩な12の専修があります。各専修に進むのは2年次からですから、1年次の間にさまざまな学びを体験して、あなた自身の指向性を発見してください。また、教員免許、学芸員、図書館司書などの資格を取得することも可能です。こうした資格も指向性の結実のひとつです。4年間、あなたの知の指向性を試してみませんか。



文学部長
村田 右富実 教授